

※試験期間に筆記試験を実施した。持ち込み不可とするかわりに、事前に問題の出題形式（一問一答式10問・記述式4問中2問選択式であること）と記述式の問題をアナウンスした。

◇試験問題（試験時間90分、持込不可）

【問題1】 次の①～⑩の問いに答えなさい。

- ① 儒学のテキスト「四書」。『大学』『論語』『中庸]、あと一つは何？
- ② 『西洋事情』『学者安心論』の著者は誰？
- ③ 憲法起草者による逐条解説書『憲法義解]。誰の著書として出版された？
- ④ 教育勅語が發布されたのは明治何年のこと？
- ⑤ 現在の東京経済大学の前身である商業学校を設立した実業家は誰？
- ⑥ 日比谷焼打事件は何戦争の講和条約に反対するものだった？
- ⑦ 「地方ちかたの研究」を提唱し、柳田國男に影響を与えた人物は誰？
- ⑧ 河上肇は何を読んで「絶対的非利己主義」を理想とするようになった？
- ⑨ 歌集『みだれ髪』の著者で、女性の経済的独立を主張した人物は誰？
- ⑩ 現在「防災の日」である9月1日。大正12年（1923年）のこの日に何が発生した？

【問題2】 次の4つのうちから2問選んで答えなさい。ただし、論述にあたり講義で扱った内容を踏まえたものとする。問題番号順どおりに答えなくてもよいが、冒頭に選択した問題番号を示してから論述をはじめること。

- ① 福沢諭吉の思想について述べなさい。
- ② 「慈善」について述べなさい。
- ③ 内地雑居（内地開放）が与えた影響について述べなさい。
- ④ 母性保護論争について述べなさい。

◇解説

毎回講義で配付した資料と、まとまった段階で配付した「確認プリント」をもとに準備していれば難なく解ける問題である。

【問題1】を解く際は漢字の書き間違いに要注意。【問題2】については、問題文にあるように、講義で扱った内容を踏まえた論述であること。論理的に上手に話を展開できていれば高評価となる。なお、問題を事前にアナウンスしており、試験にむけての準備期間があった。その準備期間において各自調べたことを付け加えたりしている場合、評価（加点）の対象となる。

【問題1】①『孟子』 ②福沢諭吉 ③伊藤博文 ④23 ⑤大倉喜八郎 ⑥日露 ⑦新渡戸稲造 ⑧『聖書』
⑨与謝野晶子 ⑩関東大震災

【問題2】

それぞれ講義で扱ったことは次の通り。

①：配付した第2回講義資料を参照。福沢諭吉の『福翁自伝』『西洋事情』『文明論之概略』『学問のすゝめ』『学者安心論』といったテキストをとりあげ、彼の「門閥」批判、学者職分論争、「スピイチ」の奨励について扱った。

②：配付した第4回講義資料を参照。明治30年代、社会問題への関心が高まり社会民主党も結成された。「貧富の懸隔」が問題になるなかで、富者は慈善事業を求められるようになるが、社会主義者はこれを批判していた。講義では片山潜『我社会主義』や安部磯雄『社会問題解釈法』などをとりあげ、彼らの「慈善」批判について扱った。

③：配付した第4回および第5回講義資料を参照。職工義友会（労働組合期成会）結成、上田万年による「標準語」「国語」論、民法・商法の整備、大倉喜八郎の商業学校設立などについて扱った。

④：配付した第10回講義資料を参照。母性保護論争における与謝野晶子、平塚らいてう、山川菊栄の諸論文をとりあげ、与謝野・平塚の見解の違いとともに、「個人の自覚」が制度をつくるという与謝野と、「経済的環境の改善」こそ必要だという山川の対立点についても扱った。

以上